

2023年6月26日

電気学会 産業応用部門 半導体電力変換技術委員会

委員長 伊東 淳一（長岡技術科学大学）

企画担当 米田 昇平（東京海洋大学）

2023年度 学生・若手技術者向け海外研究室見学及び技術交流会 参加者募集要項

国内の博士課程学生や若手技術者を対象として、海外研究室の訪問機会を提供することを目的としています。この訪問を通じて、海外におけるパワーエレクトロニクスの研究の実情を実感してもらい、さらに、海外の研究者・学生との交流を促すことで将来に繋がる双方の関係の発展を期待します。

1. ラボツアーの概要

デンマーク・オールボーにて開催される国際会議 EPE 2023 ECCE Europe (9/4～9/8) にあわせて、ルーベン大学 EnergyVille を訪問し、研究施設・内容の視察および技術交流会を開催します。

訪問先: Power Electronics Team KU Leuven (Prof. Wilmar Martinez)

<https://homes.esat.kuleuven.be/~wmartine/home/>

※ルーベン大学 (KU Leuven) はルーベン市内にありますが、訪問先はルーベン市から東に移動したヘンク (Genk) 市内にある EnergyVille ですので、場所にご注意下さい。

2. スケジュール ※状況に応じて若干変更する場合があります

9/9 (土)	EPE 会場近くの空港 (AAL) から出発 ブリュッセル空港 (BRU) 到着 ブリュッセル市内のホテルに宿泊
9/10 (日)	ブリュッセル市内の鉄道博物館、自動車博物館などの見学会 ブリュッセル市内のホテルに宿泊
9/11 (月)	午前 ブリュッセル市内からルーベン大学 EnergyVille に移動 (電車で2時間程度) 午後 13:00-14:00 ラボツアー参加者からプレゼン (日本側の研究者紹介) 14:00-16:00 ラボツアー (Power Electronics Team KU Leuven の研究紹介, 施設見学) 17:30-19:30 Prof. Wilmar Martinez および研究室メンバーとの夕食会 夜 ブリュッセル市内のホテルに移動 (電車で2時間程度)・宿泊
9/12 (火)	ブリュッセル空港 (BRU) より各自帰国

ここではブリュッセル (Brussel) 市内泊の例を挙げていますが、より訪問先に近いヘンク

(Genk) 市内、ハッセルト (Hasselt) 市内にも宿泊可能です。また、9/11 (月)の集合場所とその後の訪問先への移動方法は検討中ですので、決まり次第参加者に連絡します。

研究室訪問及び技術交流会は 9/11 (月)のみの実施予定です。宿泊・移動に関しては、参加者への情報提供を行います。手配は参加者各自でお願いします。

3. 参加に必要なとなる費用の目安

研究室訪問及び技術交流会にかかわる費用は、基本的に参加者の自己負担となります。

- ・交通費：オールポー ～ ブリュッセル 40,000 円ほど
- ・宿泊費：ブリュッセル市内のホテル (2 名 1 室 3 泊) 50,000 円ほど
- ・その他：ブリュッセル市内からルーベン大学への交通費や夕食会も実費負担

4. 学生参加者に対する参加費用の助成

学生の参加者に対しては、交通費・宿泊費として 1 人あたり 40,000 円を 9 名に助成します。

助成を希望する学生参加者が 9 名を超えた場合など、状況に応じて助成対象者を選考するか 1 人あたりの支給額を減額します。助成を希望せずに参加することも可能です。

5. 参加者の応募資格と募集数について

- ・応募資格：電気学会 産業応用部門の会員である若手技術者または学生で、原則として技術交流会でのプレゼンテーションを引き受けることができる方
- ・募集数：最大 15 名程度 (ルーベン大学側の受け入れ体制によって変更の可能性あり)
※ EPE 2023 への参加や発表の有無は問いません。

6. 選考について

・参加者

希望者多数の場合は、博士後期課程の学生、博士課程を志す修士課程の学生、若手技術者の順で優先します。ただし、参加者の研究テーマによっては優先順位を変更する場合があります。

・参加費用の助成 (学生のみ)

博士後期課程の学生を優先します。希望者が 9 人を超える場合、助成対象者を選考するか 1 人あたりの支給額を減額します。選考が必要な場合は、希望者の研究内容も考慮して助成対象者を決定します。

7. 募集期間と応募方法

- ・募集期間：2023 年 6 月 26 日(月)～7 月 21 日(金)
 - ・応募方法：応募様式に必要事項を記入のうえ、メールに添付
 - ・応募先：東京海洋大学 米田 昇平 (komeda@kaiyodai.ac.jp) 宛て (To フィールド)
- ※ ラボツアー中に問題が発生した場合、担当者が支援を行います。基本は自己責任となります。万一に備え、各自で海外保険に加入しておいてください。

8. 主催

産業応用部門 半導体電力変換技術委員会

委員長 伊東 淳一（長岡技術科学大学）

企画担当 米田 昇平（東京海洋大学）

9. 共催

産業応用部門 国際委員会

PPEJ（Ph.D. candidates of Power Electronics in Japan）

以上

